

令和6年度 鶴岡市医療と介護の連携研修会アンケート結果まとめ

日時：令和6年11月7日(木)18:45～

会場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール

1. 出席状況とアンケート回収率

出席者数 136名

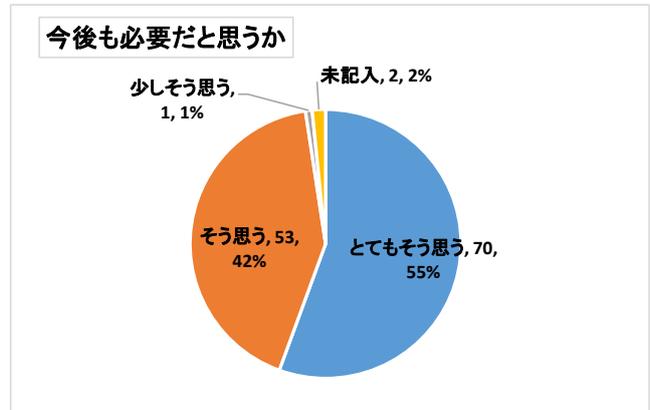
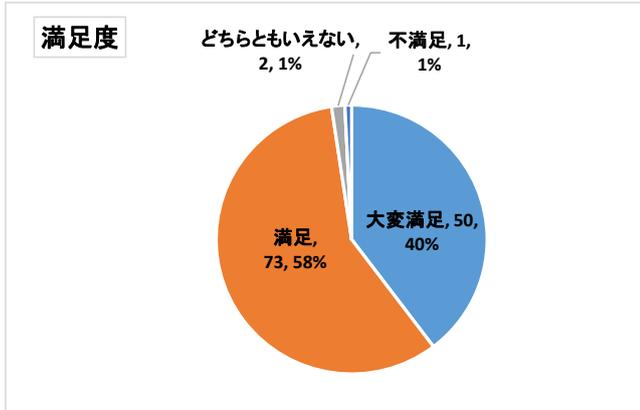
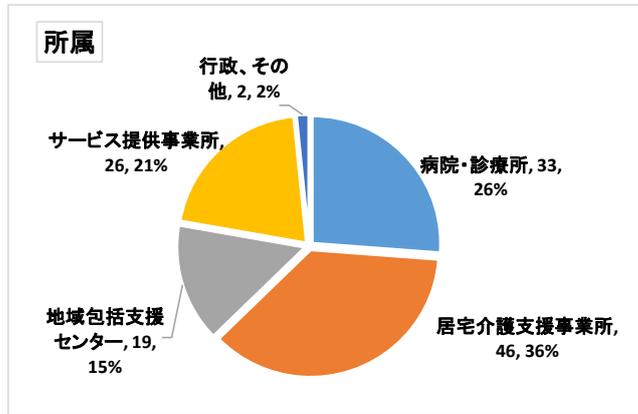
		申込者数	出席者数	回答数	回収率
医療機関 関係業務 従事者	医師	7	4	4	100.0%
	看護師・准看護師・助産師	28	25	25	100.0%
	社会福祉士、MSW	4	4	4	100.0%
	リハビリ	1	0	0	-
	小計	40	33	33	100.0%
介護・福祉 関係業務 従事者	医師	1	1	1	100.0%
	看護師・准看護師	14	14	13	92.9%
	保健師	3	2	2	100.0%
	リハビリ	3	3	3	100.0%
	相談員(支援、生活、福祉用具含む)	8	7	7	100.0%
	社会福祉士	5	5	5	100.0%
	介護支援専門員(主任含む)	59	58	58	100.0%
	介護福祉士、介護員	3	2	2	100.0%
事務、その他	3	3	0	0.0%	
小計	99	95	91	95.8%	
行政、その他	保健師	3	2	2	100.0%
	その他	7	6	0	0.0%
	小計	10	8	2	25.0%
総計	149	136	126	92.6%	

2. 研修会の満足度

所属		大変満足	満足	どちらともいえない	やや不満足	不満足	未記入	総計	割合
病院・診療所	人数	13	20	0	0	0	0	33	26.2%
	割合	39.4%	60.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
居宅介護支援事業所	人数	18	26	1	0	1	0	46	36.5%
	割合	39.1%	56.5%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	100.0%	
地域包括支援センター	人数	6	13	0	0	0	0	19	15.1%
	割合	31.6%	68.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
サービス提供事業所	人数	12	13	1	0	0	0	26	20.6%
	割合	46.2%	50.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
行政、その他	人数	1	1	0	0	0	0	2	1.6%
	割合	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	人数	50	73	2	0	1	0	126	100.0%
	割合	39.7%	57.9%	1.6%	0.0%	0.8%	0.0%	100.0%	

4. 研修会は今後も必要だと思うか

所属		とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	そう思わない	未記入	総計	割合
病院・診療所	人数	19	14	0	0	0	33	26.2%
	割合	57.6%	42.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
居宅介護支援事業所	人数	24	21	1	0	0	46	36.5%
	割合	52.2%	45.7%	2.2%	0.0%	0.0%	100.0%	
地域包括支援センター	人数	8	9	0	0	2	19	15.1%
	割合	42.1%	47.4%	0.0%	0.0%	10.5%	100.0%	
サービス提供事業所	人数	17	9	0	0	0	26	20.6%
	割合	65.4%	34.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
行政、その他	人数	2	0	0	0	0	2	1.6%
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	人数	70	53	1	0	2	126	100.0%
	割合	55.6%	42.1%	0.8%	0.0%	1.6%	100.0%	



1-1. 研修会の満足度ごとの理由

【大変満足した】

フラットな感じでグループワークできてよかった。
庄内地域の新たな地域医療構想の方向性についてふれることができた。
グループワークでいろいろ気づきを得て学ぶことができました。
いろいろな方々と話ができて、たくさん事例を聞くことができとても勉強になった。
初めましての方と情報交換できた。
看取りについてがん以外でも考える機会となった。
グループワークにて他事業所、多職種の方々と意見交換ができたのがとても充実していました。
他職種の方々の視点や事例を聞くことができ、大変参考になりました。
多職種それぞれの考え方と思いなどを知り、今後の連携につながるよい機会となった。
グループワークの進め方がこれまでと違い話しやすかったと思います。
多職種の方々からの意見を聞くことができ、また違った方向からの視点を教えていただくことができた。
いろいろな職種での立場、意見を聞くことができた。
自分が考えているより深い意見が聞かれました。
違う立場の職種の話し合い(グループワーク)。顔を合わせた研修はやはり良いと思いました。
他の職種と話をできる機会は少ないためいろいろな事例を聞いて勉強になった。
他事業所、他職種の方々との意見交換が有意義であった。
様々な職種の方と情報共有させていただき、勉強になりました。
他職種の貴重な意見や経験談を聞くことができた。
事例、GWで実際に経験したこと、ないことを聞くことができ学びの深い研修会となりました。
決めつけず、柔軟に対応すること。どんな状況でも焦らず傾聴すること。
電話で対応している方と対面し、命に対する考え方をぶつけあえ有意義でした。
日頃、連絡を取る機会のない機関や職種の方とグループワークができて有意義だった。
様々な職種の方の考え方や課題に思っていることなど、情報共有ができ、ケアマネとしてできることを改めて考えることができたよい研修会でした。
様々な職種の方と久しぶりに顔を合わせて色々な意見をうかがうことができたから。
他職種の方の意見を聞くことができた。今後の連携に役立てられる。
多職種、多事業所と意見交換が行えたことがよかった。

【満足した】

様々な職種の方々のお話が聞いてよかった。
自宅看取りを受け入れた家族と、その後の不安、負担を医療と介護サービスでどのように関わったか知れよかった。
様々な事業所、職種の話を聞いた。
看取りに関して専門職の意見が聞いて今後の業務の参考となった。
他の職種の意見・考えを聞くことができた。

それぞれの立場での話を聞くことができた。実体験で印象に残った事例も聞けた。
それぞれの立場の意見はとても勉強になりました。
普段から関わるのが少ない職種の方とお話でき、よかった。
いろいろな職種の方の意見が聞けて勉強になった。
いろいろな職種の話が聞けた。
それぞれの立場の意見が聞けた。
事例を通して、専門職として、家族として、本人として、どう考えるか機会をもつことができた。それぞれの思いを大切に支援していきたいと思った。
多職種の意見、考えを聞くことができたため。
ZOOMなども取り入れハイブリット開催だとありがたい。
グループワークの中で専門職視点での意見を聞けた。
多種の皆様と意見交換できてよかった。
グループワークは様々な意見が聞けてよい。
普段このような意見交換をする機会は少ないから。
普段聞くことができない職種の話を聞くことができ勉強になりました。看取りについて考えることができました。
独居世帯、高齢者世帯の対応について考える機会があった。
現場の人々がどう認識し、感じているかを少し捉えることができた。
他職種、他部門の方々の意見を聞くことができてとてもよかった。
他職種の意見が聞かれたところ。
各職種での悩みや課題とかも聞くことができて良かったと思います。
久しぶりの大勢でのグループワークは盛り上がりました。それぞれの立場で話せる貴重な場だと思います。
いろいろな職種の方のそれぞれの立場での思いが聞けてよかった。
多職種の意見を直接聞くことができた。
多すぎてグループワークの声が聞こえない。少しグループワークの時間が短かった。それぞれの立場で考え方が違うけど、それをどう連携に繋げていくか。(→担当者会議だけ？特に病院看護師、医師、担当者会議に出ない職種もいる。)意思統一。
いろいろな病院、施設の方と知り合えた。
様々な病院、施設、居宅、行政の職種の方と交流できた。
それぞれの職種で考えの違いや思い、視点が違うということに気づかされた。
グループワークの時間が短く残念だった。

【どちらともいえない】

伝えたいことが伝えられなかった。
ミニ講演の内容(蘆野所長)、もう少しじっくりと聞きたかった。食支援チームの話も聞きたかった。

【不満足】

ヘルパーやデイなどの(施設なども)参加者が少ない。

1-2. 研修会の満足度の理由(所属別)

所属	意見
病院・診療所	様々な事業所、職種の話聞いた。
	いろいろな方々と話ができ、たくさんの事例を聞くことができとても勉強になった。
	それぞれの立場での話を聞くことができた。実体験で印象に残った事例も聞いた。
	多職種それぞれの考え方と思いなどを知り、今後の連携につながるよい機会となった。
	いろいろな職種での立場、意見を聞くことができた。
	ZOOMなども取り入れハイブリット開催だとありがたい。
	多種の皆様と意見交換できてよかった。
	他の職種と話ができる機会は少ないためいろいろな事例を聞いて勉強になった。
	他事業所、他職種の方々との意見交換が有意義であった。
	現場の人々がどう認識し、感じているかを少し捉えることができた。
	他職種、他部門の方々の意見を聞くことができとてもよかった。
	各職種での悩みや課題とかも聞くことができ良かったと思います。
	他職種の方の意見を聞くことができた。今後の連携に役立てられる。
多職種、多事業所と意見交換が行えたことがよかった。	
居宅介護支援事業所	看取りに関して専門職の意見が聞けて今後の業務の参考となった。
	グループワークでいろいろ気づきを得て学ぶことができました。
	伝えたいことが伝えられなかった。
	看取りについてがん以外でも考える機会となった。
	他職種の方々の視点や事例を聞くことができ、大変参考になりました。
	ヘルパーやデイなどの(施設なども)参加者が少ない。
	多職種の方々からの意見を聞くことができ、また違った方向からの視点を教えていただくことができた。
	いろいろな職種の話が聞けた。
	それぞれの立場の意見が聞けた。
	事例を通して、専門職として、家族として、本人として、どう考えるか機会をもつことができた。それぞれの思いを大切にしたいと思った。
	自分が考えているより深い意見が聞かれました。
	グループワークの中で専門職視点での意見を聞いた。
	グループワークは様々な意見が聞けてよい。
	違う立場の職種の話し合い(グループワーク)。顔を合わせた研修はやはり良いと思いました。
	様々な職種の方と情報共有させていただき、勉強になりました。
他職種の意見が聞かれたところ。	
決めつけず、柔軟に対応すること。どんな状況でも焦らず傾聴すること。	
いろいろな職種の方のそれぞれの立場での思いが聞けてよかった。	
多職種の意見を直接聞くことができた。	

所属	意見
	<p>様々な職種の方の考え方や課題に思っていることなど、情報共有ができ、ケアマネとしてできることを改めて考えることができたよい研修会でした。</p> <p>それぞれの職種で考えの違いや思い、視点が違うということに気づかされた。</p> <p>グループワークの時間が短く残念だった。</p>
地域包括支援センター	<p>様々な職種の方々のお話が聞けてよかった。</p> <p>他の職種の意見・考えを聞くことができた。</p> <p>初めましての方と情報交換できた。</p> <p>普段から関わるのが少ない職種の方とお話でき、よかった。</p> <p>グループワークの進め方がこれまでと違い話しやすかったと思います。</p> <p>普段このような意見交換をする機会は少ないから。</p> <p>独居世帯、高齢者世帯の対応について考える機会があった。</p> <p>久しぶりの大勢でのグループワークは盛り上がりました。それぞれの立場で話せる貴重な場だと思います。</p> <p>多すぎてグループワークの声が聞こえない。少しグループワークの時間が短かった。それぞれの立場で考え方が違うけど、それをどう連携に繋げていくか。(→担当者会議だけ？特に病院看護師、医師、担当者会議に出ない職種もいる。)意思統一。</p> <p>いろいろな病院、施設の方と知り合えた。</p>
サービス提供事業所	<p>フラットな感じでグループワークできてよかった。</p> <p>自宅看取りを受け入れた家族と、その後の不安、負担を医療と介護サービスでどのように関わったか知れよかった。</p> <p>庄内地域の新たな地域医療構想の方向性についてふれることができた。</p> <p>グループワークにて他事業所、多職種の方々との意見交換ができたのがとても充実していました。</p> <p>いろいろな職種の方の意見が聞けて勉強になった。</p> <p>多職種の意見、考えを聞くことができたため。</p> <p>ミニ講演の内容(蘆野所長)、もう少しじっくりと聞きたかった。食支援チームの話も聞きたかった。</p> <p>普段聞くことができない職種の話を聞くことができ勉強になりました。看取りについて考えることができました。</p> <p>事例、GWで実際に経験したこと、ないことを聞くことができ学びの深い研修会となりました。</p> <p>電話で対応している方と対面し、命に対する考え方をぶつけあえ有意義でした。</p> <p>様々な職種の方と久しぶりに顔を合わせて色々な意見をうかがうことができたから。</p> <p>様々な病院、施設、居宅、行政の職種の方と交流できた。</p> <p>他職種の貴重な意見や経験談を聞くことができた。</p>
その政他・	<p>それぞれの立場の意見はとても勉強になりました。</p> <p>日頃、連絡を取る機会のない機関や職種の方とグループワークができて有意義だった。</p>

2. 今回の研修会に参加しての気づき(所属別)

所属	意見
病院・診療所	他職種となかなか話し合うことがない中、今日の研修は有意義でした。ICTを使用した連携。
	各職種のレベルの高さ。
	本人・家族の気持ちや考えに基づき多職種が動いているが、それぞれの立場で見えること、感じることの差・違いを知れた。
	それぞれの職種からそれぞれの立場での話を聞くことができた。自分の施設でやるべきことは何か考えることができた。
	医療のことを家族に具体的に説明し、理解してもらうことの大切さ。たべるを支援し隊の活用、Note4Uの活用をもっともつと。目標をひとつに。
	受け入れ先を探すことの困難さと、在宅に戻ることの重要さと困難さ。そのための丁寧な説明と多職種で支えていくことの大切さに再度気づかされました。
	急性期から回復期→在宅へ移行するときの患者・家族の想いや言動を尊重することが一番大切であること。
	本人の意思。家族もまきこまれる。
	多職種で様々な病院や施設でのケアの仕方を、意見交換しながら学ぶことができとても良かった。
	職種は違っても、患者・利用者さんへの思いや考え方は同じであるが、アプローチの方法が違ったり、その職種だからできることなど、チームで関わっていくことが重要だと思った。
	地域、自宅での看取りが増えている。
	在宅介護での実態
	多職種が参加する中で、講義→グループワークの方が意見交換しやすいと感じた。
	病院から在宅への連携はスムーズにできていると感じました。
	ACPが大事。
	ACPの重要性。それぞれの立場での役割と情報共有の大切さ。
	複数の専門職の立場からの意見があり、他職種で多角的に捉えることが大切。
	自宅看取り…自身の経験ではほとんどなかった。自宅看取りができる家庭の恵まれた状況。
	それぞれの職種において、在宅看取りの支援について「本人・家族の思いに寄り添う」ことの大事さ。
	本人・家族に寄り添いケアをすること。
	様々な職種で考え方や支援が違うため、やはり連携は大切であると考えた。
	本人・家族、在宅での支援を多職種で連携していくことは本当に大切だと改めて感じました。
	地域連携は、入院中も在宅でも重要。
	病状説明後、家族がどう受け止めたか、医師もケアマネも気にしている。この情報を申し送っていく必要がある。
	急性期を脱した方の受け皿がないという日頃困難さを感じていることを、様々な職種、施設の方と共有できた。
	家族の思いには大いに寄り添うが、本人の思いへ寄り添うことがまだまだ不足していると思った。
	各職種の看取りの考え方の違い
	他職種の方の意見、視点の違うことなど
本人家族の意向は大切。多職種の意見を増やし、選択肢を増やせることは重要だと感じた。	
食事がとれなくなったときの様々な意見をうかがうことができ、参考になりました。	

所属	意見
居宅介護支援事業所	意思決定を変更してもいいよ、と伝えること。意外と伝えていないと気づいた。
	多職種の思い、考え、立場は違う。チームで統一する。連携の重要性を再確認した。
	主介護者を支える介護者ともつながり、情報共有することで主介護者の負担を減らすことができる。
	多職種での意見交換で自分にはない視点があり、参考になった。
	悩んでいることはみんな同じだと思いました。
	利用者(患者)・家族に寄り添うことの大切さ、意向の捉え方が大切と感じました。
	本人、家族の意向の確認の大切さ。本人の意向が確認できない場合の対応について。その時の環境や家族の思いを汲み取って家族の決断した意向について否定せず、可能な範囲で自分のできる支援を行っていかうと思った。
	意見交換することで他職種の思い・支援を聞くことができた。
	やはり本人の意向を支援すること。みんな頑張っている。
	本人の意向の重視でぶれずに支援していけること。意向は変わっていても良いのだと説明することの必要性。
	それぞれの職種で支援の思い・考えが違うこと。
	認知症の方でも意思決定はできる。どう聞かか。
	専門職の方の視点から意見をうかがうことができました。
	認知症の方の意思決定支援
	認知症の人も意思決定ができないわけではないこと。
	胃瘻についての医師の意見。立場が違うと見方が違うこと。制限があっても、好きなものを食べさせてもよいこと。
	アセスメントや多職種連携の大切さがわかった。
	医療職と共有することの大切さに改めて気づいた。
	認知症の方だからと無視せず本人の意向を一番に聞き考える。絶対大事。看取りに寄り添う支援は家族の不安を解消しつつチームで全体で何度も話し合う。
	専門職によって視点が違う。それこそ大切。
	自分は経験したことのない様々な事例を聞くことができ大変参考になりました。
	その時その時の家族の思いに寄り添っていく。それを医療職に伝えていく。
	いろいろな意見が聞けてよかった。
	意思決定をチームで共有する。意向は変わるので、その都度思いを確認する。認知症であっても全く意思決定できないと決めつけない！！
	認知症の方の食支援について活用してみようと思った。
	意思確認。日頃から話題にして確認。
	事例について、援助方法を学ぶことができた。「本人、家族が望む暮らし」について考えることができた。
	情報共有の大切さ
自宅で見取りのケースが増えている。家族が病状の理解をしていない場合、どのように対応したらよいか様々な意見を聞くことができた。	
それぞれの職種での役割分担をし、本人・家族をどう支えていけるかが大切だと改めて感じた。本人・家族に寄り添い、多職種で連携し本人の望む自宅での生活を支えていきたいと感じた。	
本人の意見よりも家族の意見や考え次第で、本人の今後は左右されること。そうならないためにも、本人の意思がしっかりしている間に話し合ったり確認するべきだと思った。	
本人・家族の思い、医師の思い、どちらも命を守るために、の思いを持って本人に寄り添って支援する難しさを感じた。考えさせられた。	

所属	意見
	<p>他職種の方々と話をする機会がよかったです。</p> <p>在宅看取りの考え方にいろいろな方法があるとわかった。</p>
地域包括支援センター	<p>意思決定のための丁寧な説明が大切であること。</p> <p>ACPについて常々話しておかないといけないと思った。</p> <p>本人の気持ちを第一に考えながら行動していきたい。情報の共有なども重要であると思った。</p> <p>1つのテーマでもいろいろな視点があり、経験値も全然違った。</p> <p>認知症の方への意思決定について。どうしたら意思表示できるか。</p> <p>職種によつての視点、関わり方が異なるということを改めて気づくことができた。それを踏まえ連携の重要性を再確認できた。</p> <p>医療従事者との視点の違い</p> <p>認知症の方は特に食べられない原因がわかりづらいときがあるが、本人の好み、どんな環境なら食べられるか、専門職の意見も参考にしておいていく。</p> <p>チームケア、連携がよくできている、との意見が多かった。他職種を理解することが重要と思う。</p> <p>専門職でやはり意見が違い、新しい視点があった。</p> <p>それぞれの立場の思い</p> <p>ケアマネの視野の広さ</p> <p>ACP(認知症の方)も含めて大切である。</p> <p>家族の意向や医師の意向確認も含めて、支援することが必要。</p> <p>地域の中で健康で幸せに生活するために様々な機関の連携が必要であること。</p> <p>みんなで話し合い共有。随時、その都度、話をしつらぎ寄り添う。</p>
サービス提供事業所	<p>「(治療など)何もなくていい」と思っていたり親に言われていても、それがいつ、どの段階での話なのか、より詳しく考えたり、事前に話すことが大切ということに気づいた。</p> <p>本人・家族の意向をどのように聞き取り、医・介と共有するか。認知症だからと思いつまず、本人の思いを聞き出す。</p> <p>在宅での看取りでは、特にキーパーソンが大変だと思った。キーパーソンを支える支援が必要。(特に高齢者である場合)</p> <p>看取りのケースの事例のワークに参加し、これからの看取りケアへの関わり方について考えさせられた。</p> <p>チーム連携の重要性</p> <p>いろいろな面での意見交換があり、話が聞けて参考になりました。</p> <p>それぞれの職種での視点、考え方に触れることができた。</p> <p>2つの事例を通してACPの重要性やその人らしさを考えてサポートできる存在でありたいと改めて感じました。</p> <p>多職種の立場での意見をうかがうことができ参考になった。特にケアマネさんは相手を認める言葉をかけて下さり、まとめ役のプロだと思った。</p> <p>それぞれの職種により気づきのポイントが違う。多職種連携の必要性。</p> <p>医療と家族、施設、居宅の連携が大事であると思った。</p> <p>環境や社会全体が少しずつ変わってきている。</p> <p>多職種の話が聞けて、勉強になりました。</p> <p>他職種、家族との連携、情報共有の大切さ。本人の意思を考えること。</p> <p>本人・家族の意向が一番であるが、環境(協力体制など)も大事なことであるため、橋渡し・支えとなれるようにしたいと思いました。</p> <p>胃瘻、看取りも数年前とは考え方も方法も移行していると強く感じました。自然なかたちを…が多くなっている。</p>

所属	意見
	<p>情報の共有の大切さ</p> <p>それぞれの職種の考え方がわかり良かったと思う。</p> <p>看取りケア→認知症患者においても、聞き方で意思決定はできることに新たな気づきがありました。</p> <p>多職種での話し合いの中で思っていること、支援の気持ちは同じだった。</p> <p>自分が経験したことがないことなどを知り、様々な方法等を知り気づけました。</p>
<p>その 行の 政 他・</p>	<p>在宅看取り、認知症の大切さ。蘆野先生のミニミニ講話が勉強になった。</p> <p>ワークショップであなたが家族であった場合の選択について、どんな方法を選んでも、その時決めたことはその時に真剣に考えたのでそれで良いということがわかった。</p>

3. 本日の研修会に参加して取り組んでみようと思ったこと(所属別)

所属	意見
病院・診療所	ACP ×3
	ACP会議を家族でしたい。
	ACPはあくまで手段。目標(本人の)が達成できるようサポートする意識を持つ。
	ACPと連携
	Net4U、Note4Uの普及
	患者・家族の気持ち・意思をきちんと確認し、在宅・施設へつなげていきたい。
	医療のことを家族に具体的に説明し、理解してもらうことの大切さ。たべるを支援し隊の活用、Note4Uの活用をもっともつと。目標をひとつに。
	普段から行っていることですが、本人・家族とACP、ALPIについて話し、意向を確認していきたい。そして、多職種で共有していきたいと思う。ENT後の家族へのケアも重要と学んだため、在宅へつなげていけるよう、情報共有していきたい。
	患者の意向を一番尊重すること。ACPの重要性。
	本人の意思を何度も確認。家族にも状況を伝えること。
	その人がその人らしく暮らしていくためのケアを改めて本人、ご家族と共に話し合いながら支援していこうと思う。たべるを支援し隊をもっと広めていきたい。
	多職種連携
	病院、介護、福祉の機能的複合
	本人・家族の話をよく聞き、寄り添い、関わっていきたい。
	退院支援をもう少し踏み込んで実施できればと思います。
	情報提供のタイミングが難しい。情報は進んで伝え共有していこうと思った。
	認知症だとしても、本人がどうしたいかどう考えているか、言葉で表出できなくても、表情・行動がどうか繰り返しアセスメントしていきたい。何かシグナルを出していないか、そこを逃さず患者の代弁者であること。
多職間のコミュニケーション	
本人の意思を尊重することを当たり前としながら、家族の不満軽減に対する支援	
居宅介護支援事業所	在宅への受け皿を広げることを意識し、自分が取り組めることを考えたい。
	本人の思い、家族の思いに寄り添う医療と介護を目指したい。
	主介護者を支える介護者ともつながり、情報共有することで主介護者の負担を減らすことができる。
	業務の中に意識して取り込んでいきたいと思いました。
	ACPのすすめ
	日頃からどんな生き方をしたいか話をする必要があると思いました。
	本人・家族との関わりについて学んだことを活かす。他職種の人たちと話を本音でできるようになれるかもと思った。
	家族へ寄り添うことの繰り返し。
	利用者支援はチームで行っているのだ。課題が出てきたら事業所に相談する→アドバイスや工夫、方法が見つかりそう。連携が大事。情報共有する。
	いろいろな職種の方からアドバイスをいただいてチームとして支援をしていきたいと思いました。
	利用者さん、家族さんの意思決定支援
	看取り時の対応
認知症の方へのアプローチ	

所属	意見
居宅介護支援事業所	食べれなくなった人へのアドバイスの仕方。
	現在支援している看取りの支援
	もっと連携、情報共有
	これまで以上に本人・家族が望む支援ができるよう情報を収集して連携していこうと思いました。
	意向は変わっても良いのだということを家族に伝えておく。
	意向についての再確認
	本人がどの場面で希望や意向を表現するか(デイサービス利用時、訪看利用時など)常に声を聞くようにしようと思う。
	意思確認。日頃から話題にして確認。
	看取りの支援。本人・家族の考えを十分にお聞きして支援する。
	ちょうかいネットの導入について
	「どう退院支援するか？」先を見越して考えることに取り組もうと思った。
	思いを聞き取る、たくさん話を聞く、ことを心がけたいと思います。
	看取り支援についてこれからも対応していきたい。
	看取り時の家族の心のゆらぎに寄り添えるようにしたいと思った。「意向は変わっても良いのだ」と声をかけることができるように、支援できればと思った。 多職種との連携や話し合いを積極的に行う。
地域包括支援センター	ACPの理解、意思決定の確認
	認知症になる前に話をしておくこと。
	看取りをする機会は多くないですが、今日の話聞いた内容など参考にしていきたい。
	本人・家族の気持ちの揺れに寄り添うこと。多様な職種の意見を取り入れること。
	(食べない方への)食べることの支援を学ぶ必要性を感じたので、取り組み(学ぶ)を前向きに考えたいと思います。
	家族の声掛け
	互いに心地よいチームケア
	改めて地域資源の把握。事前にいろいろ考えておく。家族と話し合う。
	さらなる連携
	視野を広げる。
	在宅看取りや認知症の方の家族の思いをもっとしっかり聞いていくこと。
	適切な専門職との連携
	医療機関との連絡の取り方。わかりやすく伝えられるようにしたい。
	自分のこと家族のこと、思いをその都度話し合う。
	家族の代理意思決定の支援を日々の仕事でも意識して行っていこうと思った。
	普段の会話でも、本人から終末期の考え方を聞いてみる。
	実施ケア、意思決定支援、ACP
入居者の方へもっと近づいたお話をしてみたい。	
生きがいを支える関わり	

所属	意見
サービス提供事業所	施設内だけでなくもっと広い視点でその人をサポートできるように地域の中でのつながりをつくっていききたいと思います。
	ターミナルでのリハができることをどこかで発信できたらと思う。
	元気なときから家族の意向確認をすること。
	利用者の方の気持ちや課題、目標に添った支援。
	看取り期に少しずつ移行するときのご家族の支援に力を入れていきたいです。
	新しい意見を入れる。→同じ職種、人たちとの会話だけでなく新しい風を取り入れる。
	独居の看取り対応
	医療から見たこと、ケアマネから見たことを感じることができたので大変さと役割がわかってよかった。
	今後も様々な職種の方と情報交換をしていきたいです。
その政他・	ACPの普及啓発。たべるを支援し隊の情報提供。
	元気うちに、住民の方が自分ごととして家族に自分の気持ちを伝えておくことが大切であることを伝えていきたい。

4. 今後の研修会の内容の希望(所属別)

所属	意見
病院・診療所	<p>ACPIについて正しい理解をするために—事例を通して—</p> <p>事例検討会</p> <p>それぞれの事業所での困難事例、連携がうまくいった事例など</p> <p>どんなことでも。現場の悩み全て。</p> <p>認知症当事者との交流</p> <p>顔を合わせて話せる機会は大切だと思う。</p> <p>身寄り(家族)不在の人の支援</p>
居宅介護支援事業所	<p>事例発表もよいが、実際の現場での困りごとをグループで話し合えれば今後の取り組みに反映できる。</p> <p>多職種連携の研修</p> <p>職種を越えた連携は今後ますます重要になると思います。その時に入所施設職員、訪問介護、デイなどの連携も大切になるのでこの研修会にたくさん参加してもらえるように工夫してもらえればと思います。</p> <p>多職種で関われること</p> <p>グループでの意見交換はとても参考になる。</p> <p>独居の方の受診支援。(受診を忘れてしまう方の医療機関や居宅等の連携、支援)</p> <p>独居の方への支援、家族が遠方、複合的な支援が必要な方への連携について、職種の違う方たちの支援の思いについて、視点の違いなど情報交換・共有をしたい、知りたいと思います。</p>
援地セブンタ支	<p>身寄りのない人への支援について</p> <p>ACPIについて</p>
サービス提供事業所	<p>事例について話し合う、他職種のそれぞれの考えを聞くことができる内容はとてもよかった。</p> <p>グループワークがとても良かったです。蘆野先生のお話をもっとゆっくりたくさんお聞きしたかったです。(先々を見据えた医療・介護の方向性について)</p> <p>医療依存度の高い方の退院支援、他職種それぞれの立場での退院後のサポートの方法について</p> <p>食事介助の最も新しいやり方。ペインコントロール(在宅での)。</p>
そ行政他・	<p>市の介護給付費の高額になっている課題の共有等ができればよいのではないかと思います。</p>

5. その他意見など(所属別)

所属	意見
病院・診療所	<p>初めての参加でしたが、楽しく意見交換もでき学びを得ることができました。また、ぜひ参加したいです。ありがとうございました。</p> <p>グループワークの時間がもう少しあるとよかった。</p>
居宅介護支援事業所	<p>発表なしの方が有意義な研修となると感じた。</p> <p>胃瘻やフォーレなどすると、退院後の調整が難しい。ショートステイ、床数の減少、在宅医療の受け皿少ない。</p> <p>年1回でよい。集合研修がよい。</p> <p>先生の講義をもっと聞きたかった。ちょっと残念。</p> <p>在宅での看取りをする方は少ないです。理由は入院して退院がせまると、病院側から(看護師が多い)「家では見れないよ」と強く言われた、という家族が多く、退院後に施設希望者が多いです。本当に在宅で看れないのか疑問です。</p>
地域包括支援センター	<p>貴重なお話をいただきありがとうございました。</p> <p>グループ発表の時間を短くして、先生の講話をもっと聞きたかった。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ミニ講話をもう少し詳しく聞きたかったです。</p> <p>荘内病院の医師は参加しないのでしょうか。</p> <p>距離近すぎ。せめて事前に資料がほしい。話が聞こえない。人数が多く調整が大変だったと思いますが…。</p> <p>グループワークがとても良かったです。講師のお話をもっとうかがいたかったです。</p>